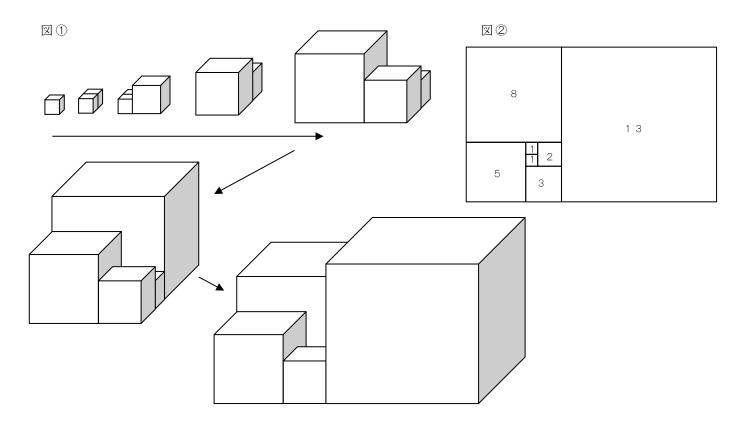


フィボナッチ立方体の表面積

立方体を次のように床の上に並べていきます。まず、1辺が1cmの立方体を置き、続いて同じ大きさの立方体をとなりにぴったり並べます。以降は、立方体を組み合わせた立体の最も長い辺と等しい長さの立方体をぴったりと、渦を描くように図①の順に並べていきます。図①を真上から見ると図②のようになり、図②に書かれた数字は立方体の1辺の長さ(単位はcm)を表しています。



- (1) 立方体を5個並べたとき(つまり1辺5cmの立方体まで並べたとき)の立体の表面積を求めなさい。
- (2) 立方体を7個並べたときの立体の表面積を求めなさい。
- (3) 立方体を12個並べたときの立体の表面積を求めなさい。

受験算数の基礎



最難関問題

für die Aufnahmeprüfung

フィボナッチ立方体の表面積 (1)202cm² (2)1386cm² (3)170510cm²

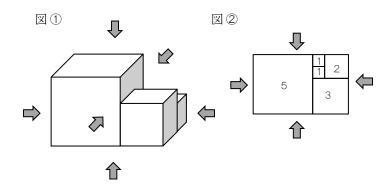
(1) 見取り図では図①,投影図では図②のようになります。上下前後左右の6方向から見える面の面積を 考えると,

上下…5×8

前後…3×3+5×5

左右…5×5

です。さらに、周りから見えない2cm²の部分が向かい合ってあるので、



(2) 投影図では図③のようになります。

上下前後左右の6方向から見える面の面積を考えると,

上下…13×21=273

前後···8×8+13×13=233

左右…13×13=169

です。周りから見えない部分の面積は,次のように分けて

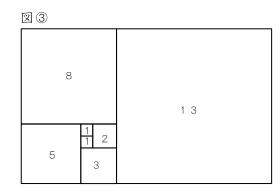
考えることができます。

<285の立方体に挟まれた部分> 282 - (181 + 181) = 2

 $<3 \times 8$ の立方体に挟まれた部分> $3 \times 3 - (1 \times 1 + 2 \times 2) = 4$

<5と13の立方体に挟まれた部分> 5×5 - (2×2 + 3×3) = 12

以上の和を求めて、 $(273+233+169+2+4+12) \times 2=1386$ (cm²) です。



受験算数の基礎

Die Grundlagen der Arithmetik

最難関問題

für die Aufnahmeprüfung

(3)(2)と同様に考えていきます。立方体の1辺の長さは、

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, ···となります。

12番目の立方体の1辺の長さが144cmなので、上下左右の面の面積は、

上下…144×233

前後と左右…144×144+144×144+89×89

です。周りから見えない部分の面積は、次のようになります。

 $2 \times 2 - (1 \times 1 + 1 \times 1)$

 $3 \times 3 - (1 \times 1 + 2 \times 2)$

 $5 \times 5 - (2 \times 2 + 3 \times 3)$

 $8 \times 8 - (3 \times 3 + 5 \times 5)$

 $13 \times 13 - (5 \times 5 + 8 \times 8)$

 $21 \times 21 - (8 \times 8 + 13 \times 13)$

 $34 \times 34 - (13 \times 13 + 21 \times 21)$

 $55 \times 55 - (21 \times 21 + 34 \times 34)$

まわりから見えない部分はあわせると,

55×55-(1×1×3+2×2+3×3+5×5+8×8+13×13+21×21) とまとめる

ことができますさらに()内の部分は,

1 × 1 + 1 × 1 × 2 + 2 × 2 + 3 × 3 + 5 × 5 + 8 × 8 + 1 3 × 1 3 + 2 1 × 2 1

 $= 1 \times 1 + 2 1 \times 3 4$

となります。

以上より表面積は,

 $\{144\times233+144\times144\times2+89\times89+55\times55-(1+21\times34)\}\times2$